

登録有形文化財 椿山荘三重塔「圓通閣」、平成の大改修から1年 10/16(火)修復落慶記念茶会を開催

10/17(水)には、「聖観世音菩薩」1周年の法要も執行

藤田観光株式会社(本社:東京、代表取締役社長:末澤 和政)は、椿山荘三重塔「圓通閣(えんつうかく)」の修復落慶から1年を記念した「椿山荘三重塔修復落慶記念茶会」を、椿山荘が運営する料亭「錦水」で、2012年10月16日(火)に開催いたします。

このたびの記念茶会は、相国寺承天閣美術館の協賛で開催いたします。当日の茶会席主として、濃茶席は臨済宗相国寺派の管長であり、昨年の落慶法要の際にもご尽力をいただいた有馬頼底(ありまらいてい)猊下、薄茶席は表千家不審庵の家元直門・教授である渡邊千保氏をお招きします。また、観音様の月命日にあたる翌17日(水)には「観音祭」として、三重塔に奉安されている「聖観世音菩薩」1周年の法要も執り行います。

修復落慶から1年を迎える椿山荘三重塔は、もともと広島県・竹林寺に建立されましたが、元勲山縣有朋公より庭園を譲り受けた藤田組2代目当主・藤田平太郎男爵により1925年に移築されました。現在では、旧寛永寺の五重塔、池上本門寺の五重塔とならび、東京に現存する3つの古塔のひとつで、登録有形文化財とされています。

昨年の改修時には、室町時代前期1420年頃の部材が使用されていることが判明いたしました。また、天井絵として「宝相華(ほうそうげ)」と呼ばれる唐草文様を天然緑青、天然群青、朱、弁柄で彩色し、一枚一枚手書きで復元しており、塔の初重には、京都の仏師宇野孝光氏による「聖観世音菩薩」を奉安し、三重塔は新たに「圓通閣(えんつうかく)」という名を授かりました。椿山荘三重塔ならびに聖観世音菩薩は、現在多くのお客さまにご見学いただいております。

椿山荘では、今後も約2万坪の日本庭園を始めとした文化財・歴史的建造物を活用し、歴史ある文化や芸術に触れるイベントを多数開催することで、お客さまに上質な時間を提供してまいります。

「椿山荘三重塔修復落慶記念茶会」開催概要

主催 : 藤田観光株式会社
 協賛 : 相国寺承天閣美術館
 日時 : 2012年10月16日(火)
 9時、10時30分、12時、13時30分、15時
 (全5回)
 濃茶席 : 席主 臨済宗相国寺派 管長 有馬頼底
 薄茶席 : 席主 表千家 渡邊千保
 点心席 : 〒112-8680 東京都文京区関口 2-10-8
 椿山荘内 料亭「錦水」
 定員 : 300名
 会費 : 20,000円

【席主プロフィール】

濃茶席 席主 臨済宗相国寺派 管長 有馬頼底
 1933年生まれ。55年京都臨済宗相国寺僧堂に入門。大津樞堂老師に師事。68年相国寺塔頭大光明寺住職、71年相国寺派教学部長。84年相国寺承天閣美術館設立により事務局長、95年同館長。88年京都仏教会理事長に就任。95年臨済宗相国寺派7代目管長(相国寺132世)に就任、同時に鹿苑寺(金閣寺)、慈照寺(銀閣寺)の住職を兼ねる。

薄茶席 席主 表千家 渡邊千保
 表千家不審庵 家元直門・教授
 淑徳中学・高等学校の茶道教師であり、東京水天宮の茶道部にて講師を担当。

2013年1月1日、椿山荘とフォーシーズンズホテル椿山荘 東京は「ホテル椿山荘東京」に生まれ変わります
 ～世界をもてなす、日本がある。ホテル椿山荘東京～

取材に関するお問い合わせ

〒112-8664 東京都文京区関口 2-10-8
 藤田観光株式会社 企画グループ 広報担当
 小宮山 誠・真田 誠二・北原 靖子・稲田 彩美
 TEL:03-5981-7703 / FAX:03-5981-7735

一般の方のお問い合わせ

「椿山荘三重塔修復落慶記念茶会」事務局
 TEL:03-5981-7750